

欲使汝興吾山即授三面火珠云々按さる
に八人の靈馬ハ神武紀より（傳ハ八咫鳥の
事を附會せしむや羽王神社ハ一虎よりて
月山陽成のあや現をお殿より多きさる意味
け文よりさる）さるや又曰 崇峻天皇
乙三王子參拂理依形質頗為慕荒相放
北海濱然太子直歸佛門請而師聖德太
子以薙髮染衣等法名弘海心性勇猛偏
有凌雲志離京城棲遼濱往攀羽山終捨
身行住阿久谷三秋衣以藤皮食以樹果

平日無他辭時信般若經力誦能除一切
苦之文又誦能所一切空之文故時俗呼
曰能除仙云々又曰能除太子至羽峯時
樹陰深鬱而殆迷歧路時有翅八尺靈鳥
三足來導能除臻羽黑及月山等太子歡
然而歌曰彌也喜茂禮遠能我播俱魯能
也磨加羅須軻珥良迺志呂久那良牟拳
滿天母云々山中に鳥渡といふ所ありを代
樹下みて二三足のりる鳥子の死しるを見
りりるを塩漬しして東叡山に毫をりる